

## 阪和興業で総資産および借入金が増加—直ちに格付に影響なし

以下は、阪和興業株式会社（証券コード：8078）でデリバティブ取引にかかる差入保証金の増加に伴い総資産および有利子負債が増加したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は3月14日、ロンドン金属取引所で先物商品価格が急騰したことを受けてデリバティブ取引にかかる長期差入保証金が1,331億円増加した旨公表した。本デリバティブ取引はプライマリーメタル事業およびリサイクルメタル事業で取り扱っている商品のヘッジを目的としたものである。また、本件にかかる資金手当として当社は1,200億円の借入を行った。
- (2) 本保証金は取扱商品のヘッジ取引に際し金融機関に差し入れるものである。また、評価損益については取引先等に帰属する。このため、差入保証金の毀損や評価損失の発生によって業績が悪化するリスクは小さいとみられ、直ちに格付を見直す必要はないとJCRは考えている。他方、借入金の増加に伴って有利子負債は22/3期第3四半期末の3,854億円（劣後ローンの資本性考慮後）から増加し、財務構成が悪化する見通しである。実需に基づく商取引の一環で発生した資金需要であり実質的な財務構成の悪化に繋がるものではないが、商品価格が一段と上昇すれば資金負担がさらに高まる可能性もある。今後の市況動向および当社の財務構成を注視していく。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

### 【参考】

発行体：阪和興業株式会社

長期発行体格付：A-

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル